

みてね展だより 第7号



2023年1月8日 発行

文責：アートでつなぐユニバーサルデザインの会

コロナ禍の中、皆様には無事にお過ごしのことと思います。

「第9回描いたよ！みてね展」が無事開催できました。作品を出してくれた方、協賛援助くださった方、後援してくださった方、そしてご来場くださった方、ボランティアでご協力くださった方など、皆様に厚くお礼申し上げます。

2022年のみてね展 成功！

令和4年10月23日(日)～11月6日(日)：須恵町立美術センター
久我記念館

今年も、心配されたコロナが落ち着いた状態の中、**第9回描いたよ！みてね展無事開催・終了できました。**嬉しさでいっぱいです。

期間中、総数587名(大人502名、子ども85名)の方々にご来館いただくことができました。昨年の反省を踏まえて今年度は最終日も通常通り時間での開催を行いました。

今回は新しいジャンルの出展として、うぶすな句会の方々による短冊句の出展を頂きました。

来年度も皆様の温かい作品の参加を心よりお待ちしております。宜しく
お願い申し上げます。

感想メッセージも56点いただきました。ありがとうございます。



第9回のポスター

みてね展 館の周囲やロビーの様子

作品の紹介については次回の「みてね展だより 第8号」にて行う予定です。今回は館の周囲や入り口付近のご紹介です。久我記念館は自然豊かで素敵な場所ですね。

お出迎えスペース



館の入り口の花「フジバカマ」に飛来する渡り蝶”アサギマダラ”



ご存知の方も多かった「日本で唯一の渡り蝶」といわれる「アサギマダラ」久我記念館にも毎年飛来しています。

群馬県の赤城自然園でマーキング（AP 標識）したアサギマダラの再捕獲事例の2015年には

赤城自然園→與邦国島

（移動距離 約2,000km）

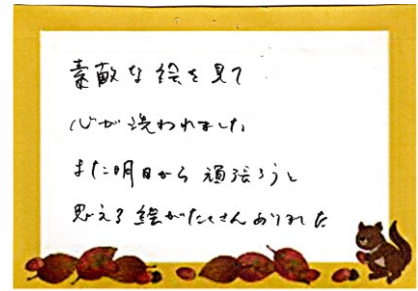
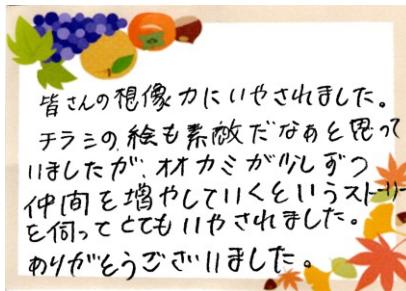
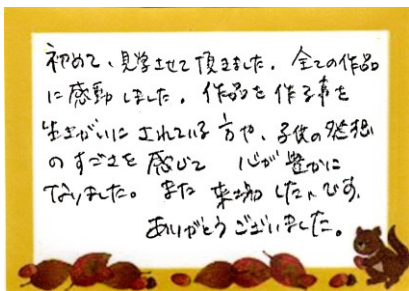
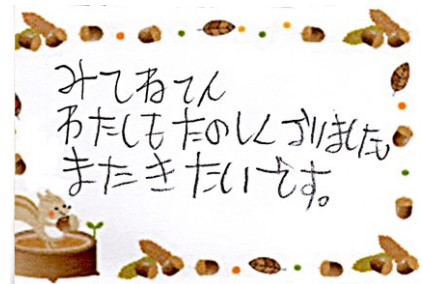
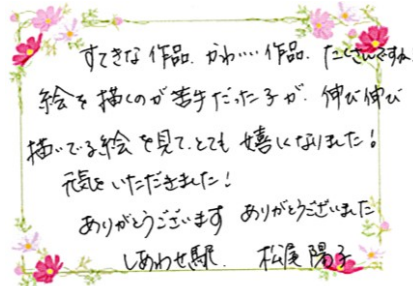
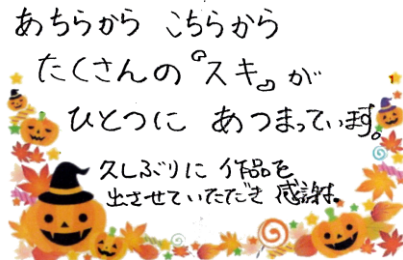


大きさは5～6cm、羽を広げると10cmになる大型の蝶。薄いあざぎ色をしたまだら模様の羽を持っています。

季節により長距離移動をする日本で唯一の渡り蝶。東北地方、九州、沖縄、台湾などを拠点に、春は南から北へ、秋は北から南へと移動。

みてね展感想メッセージ

68点の感想メッセージから数点ご紹介いたします。



多くの心温まるコメントを書きいただきありがとうございます。紙面の都合上、全てご紹介できないのが残念です。頂きましたコメントを糧に来年も開催に向けて頑張っていきます。

展示会場こぼれ話し「ブラックホール」と「たけのこ」出品の なかむた らいが君 他

おばあさんと2度目の来館。「ブラックホール」へのメッセージを手渡す。「キノコが大好き。実物を見たい」といってましたが、11月5日にキノコを作って持ってきてくれました。作品「タケノコ」の上に飾りました。

「Ao. YOZORA」に対し、こんな風に描きたいと写真撮影。どうやっているのかも知りたいとおっしゃっていた。

来年是非出品したいとの声を多数いただきました

宇美町の放課後デイサービス Ace(エース)学園、鈴木けいこさん、吉野道子さん(仲原)、鈴木春香さん(東区 職場は Create803: 柚の木グループ)など。

うぶすな句会 片瀬はつみさん 参加感想

俳句も初心者、短冊に書くのも初めて、まして町立久我記念館に展示など自身がびっくりでした。嬉し恥ずかし不安あり…年甲斐もなく高揚感を覚えました。

多くの方々の作品を拝見し、お話を聞き、沢山の交流も出来ました。参加させてもらった事に感謝しています。本当にありがとうございました。

皆様からの声を募集致します!!

次号以降でご紹介させていただきます。みてね展だより発行のためのネタ大募集中! です。事務局やお知り合いの実行委員宛にご連絡下さい。

代表 大津 正勝 電話 (090) 1194-1357 メール Kitamen2043@yahoo.co.jp

事務局 山本 洋子 〒811-2115 粕屋郡須恵町佐谷 1314-38 電話 (090) 6423-3313

メール nowornever1202@gmail.com